

< 道路管理に関するアウトカム指標、数値目標 >

より効果的、効率的に事業を執行するための、渋滞緩和・解消といった事業の実施により発生する効果や成果(アウトカム)を表す指標や事業量の数値目標は以下のとおりです。

アウトカム指標	定義	単位	H 2 1 年度 (見込値)	H 2 2 年度 (目標値)
本線渋滞損失時間	本線渋滞 ¹ が発生することによる利用者の損失時間 ²	千台・時間/年	5,602	³
路上工事による車線規制時間	道路 1 kmあたりの路上作業に伴う年間の交通規制時間	時間/ (Km・年)	73	68
死傷事故率	走行車両 1 億台キロあたりの死傷事故件数 ⁴	件/ 億台キロ	9.0 ⁵	9.0 ⁵ (前年実績を 下回るよう努力)
舗装保全率	舗装路面の健全度 ⁶ を表す車線の延長比率	%	97	100
利用時間確保率	道路が利用可能な時間 ⁷ の比率	%	99.7	99.8
E T C 利用率	E T C 導入済み料金所における E T C 利用者の割合	%	80	80 (上回るよう努力)
橋脚補強完了率	古い基準を適用した橋梁で、耐震補強を必要とする橋脚のうち、補強が完了している橋脚基数の割合	%	95	100
顧客満足度	C S 調査等で把握する維持管理に関するお客様の満足度	5 段階評価	3.6	3.6 (上回るよう努力)

- 1 時速 40km 以下で低速走行あるいは停止・発進を繰り返す車列が 1km 以上かつ 15 分以上継続した状態をいいます。
- 2 渋滞通過のために生じた遅れ時間を、法定速度と渋滞時の平均走行速度(25km/h)の差で算定した時間と影響台数で積算した年間総損失時間をいいます。
渋滞損失時間は、1～12月までの暦年の損失時間を示しています。
- 3 本線渋滞損失時間については、無料化社会実験等により影響を受けることが見込まれるため、平成22年度の目標値は記載していません。
- 4 会社が管理する道路のうち一部の道路は除かれています。また、2つの会社にわたる道路については走行台キロ比で事故件数を按分しています。
また、死傷事故率は、1月～12月までの暦年の事故率を示しています。
- 5 未確定のため、平成20年(1月～12月)の実績値を示しています。
- 6 舗装の全体延長のうち、平成18年度からの概ね5カ年の要対策箇所の補修実施により、健全な舗装延長の割合です。
- 7 降雨、降雪に因る通行止め(災害、地震等を除く)と、事故や工事による通行止めを除く、通行可能な時間をいいます。
利用時間確保率は、1～12月までの暦年の確保率を示しています。